

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	文化学園大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ブンカガクエンダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	キャリアデザイン(実践編)－インターンシップ－
	学部・研究科等名	服装学部、造形学部、現代文化学部
	担当教職員名・役職	伊藤由美子・教授、丸茂みゆき・教授、三島万里・教授
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	186
	受入企業等数	102
	受入企業等名	http://bwu.bunka.ac.jp/recruit/carrier.php#tab2
	インターンシップの分類	9. その他
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	学部・学科の特徴を活かした専門分野でのインターンシップ。	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.以外の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	ファッション・マスコミ・出版・インテリア・製造・サービス等の業界の専門に関連する企業等で、デザイナー・企画・編集・広報・設計等の業務に携わる。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している。6.当該インターンシップは、選択科目として実施している。8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	3年次・1学科2年次含・専攻科
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	学生の将来設計と職業意識の高揚、自己の適性把握・確認を目的に、独自のプログラムで単位認定科目として実施。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている。2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている。3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている。4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている。2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている。3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	一部の企業において、インターンシップ中に企業に赴き学生の様子を確認している。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップの準備と心構え、グループディスカッション、ビジネスマナー講座(2回)を実施している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	研修生のうち代表者が自らの研修内容について発表。学部によりグループでの発表も行う。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	企業に赴き、学生の状況を確認のうえ、今後の参考資料として写真におさめ、必要に応じ企業の許可を得て公開している。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	面接、レポート提出、事前教育(4回)、インターンシップ実施、事後教育、アンケートおよび研修レポート提出、公開報告会のすべてに出席することで単位認定としている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している 実働10日間から15日間
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)		
5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	夏季休暇中に2～3週間、実働10日間～15日間で実施。	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している。4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している

⑥	6-2. 以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	本学所定のプログラム概要書にて事前に研修内容等の概要をいただいている。また、評価報告書にて受入企業担当者に評価をいただき、単位認定の際の基礎資料としている。
	6-3. 上記回答内容に関する詳細(記述欄)	本学で作成した評価書(全5項目および所見)を用いて受入企業の研修担当の方に評価をしていただいている。また、その評価も単位認定の際に使用している。
	7. 上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="http://bwu.bunka.ac.jp/recruit/carrier.php#tab2">http://bwu.bunka.ac.jp/recruit/carrier.php#tab2</a>
問い合わせ先	大学等名	文化学園大学
	担当部署名	学園就職支援室 就職支援一課
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	03-3299-2321
	メールアドレス	bunka-shushoku@bunka.ac.jp